

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

郡山から会津若松までは電化区間ですが、その先の会津若松～喜多方間は近年非電化になったため、直通運転には気動車が欠かせません。その条件を生かして誕生したのが、この特急「あかべこ号」です。外見は見慣れたキハ 110 系でありながら、中身は正真正銘の特急列車という意外性が大きな魅力です。現在の JR 東日本では、定期運転される気動車特急として、おそらく唯一の存在でもあり、磐越西線に優等列車の歴史が再び刻まれ始めたことを実感させてくれる、たいへん印象深い姿でした。